

かながわの交通

2024
12月号

交通安全年間スローガン受賞作品（全日本交通安全協会会長賞）

一般部門：運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの

飲みません 今日は私が ハンドルキーパー



年末の交通事故防止運動等のポスター



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

○県内の交通事故発生概況（令和6年11月末現在） ○県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	負傷者数
令和 6 年		18,691	96	21,740
令和 5 年		19,747	104	23,183
増 減 数		-1,056	-8	-1,443
増 減 率		-5.3%	-7.7%	-6.2%

	総 数	男	女
県 人 口	9,224,751	4,571,483	4,653,268
免 許 人 口	5,678,753	3,211,408	2,467,345
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人



ホームページ

（県人口は令和6年11月1日、免許人口は令和6年10月末現在）

令和6年 交通安全功労者表彰

～ 1,023 人と 202 団体が受賞 ～

令和6年交通安全功労者表彰受賞者が決定しました。この表彰には、県知事表彰、県公安委員会表彰、県警察本部長表彰、県交通安全協会会长表彰などがあります。紙面の都合により県警察本部長と県交通安全協会会长の連名表彰受賞の方々を紹介します(敬称略)。

神奈川県警察本部長 連名表彰 神奈川県交通安全協会会长

交通安全功労者 (54人)

高松 譲	加賀町	矢内米子	保土ヶ谷	持田 忍	緑	森本 和朗	戸塚
藤井嘉一郎	山手	高橋則雄	旭	宮田勝男	青葉	松本裕明	栄
岡 泉	南	平尾義夫	旭	谷野 力	青葉	鈴木正義	瀬谷
平野周二	戸部	小池忠雄	旭	三澤元芳	青葉	大塚長治	瀬谷
西岡 茂	戸部	川口啓介	緑	長谷川一郎	戸塚	緑川義雄	川崎臨港

細野ちゑ子	川崎臨港	関山和男	多摩
嶋田敏子	中原	野々山住子	葉山町
吉田義一	宮前	森谷満夫	葉山町
伊藤武則	多摩	三堀由香里	藤沢北
田村良和	多摩	小林 学	藤沢北

府川誠二	小田原	竹原賢一	秦野市
山口恵子	秦野市	塩澤清文	秦野市
沼田 勇	秦野市	伊藤俊晟	秦野市
新堀隆雄	秦野市	金子篤史	伊勢原
古谷孝司	秦野市	岸田光由	伊勢原

田中義太郎	厚木警察署管内	五十嵐富士夫	相模原
前場康孝	厚木警察署管内	大瀧智賢	相模原北
安藤貞雄	厚木警察署管内	館盛寛行	相模原北
佐藤義男	厚木警察署管内	平井 正	津久井

塚本 誠	平塚市	鹿股 隆	平塚市
伊藤祐次	平塚市	齋藤晴尚	平塚市
島野晶史	平塚市	加藤健太郎	平塚市
令和6年神奈川県交通安全功労者表彰受彰者			

表 彰 者	種 别	受彰者数
神奈川県知事	交通安全功労者(個人)	54
	交通安全功労者(団体)	18
神奈川県公安委員会	交通安全功労者(個人)	10
	交通安全功労者(団体)	10
神奈川県警察本部長	交通安全協力者(個人)	73
	交通安全協力者(団体)	25
(公財)神奈川県交通安全協会会长	優良運転者(事業用)	121
	優良運転者(自家用)	71
(公財)神奈川県交通安全協会会长(連名)	交通安全功労者	54
	優良運転者	98
(公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	68
	交通安全優良団体	19
(公財)神奈川県交通安全協会会長(20年)	優良運転者(20年)	72
	優良運転者(15年)	187
(公財)神奈川県交通安全協会会長(連名)	交通安全功労者	13
	交通安全運転管理者	28
(社)神奈川県安全運転管理者会連合会会長	優良運転者	33
	優良事業所	53
(社)神奈川県安全運転管理者会連合会会長	優良安全運転管理者会	3
	交通安全功労者	19
(社)神奈川県安全運転管理者会連合会会長	優良安全運転管理者	39
	優良運転者	83
計	優良事業所	74
	個人 小計	1,023
計	団体 小計	202
	合 计	1,225

ぶつかるよ ながら運転 事故のもと

優良運転者 (98人)

青山 徹	加賀町	河村 修平	加賀町	細野 芳和	加賀町	滑川 稔	保土ヶ谷
栗野 宣雄	加賀町	栗林 良弘	加賀町	山口 拓也	神奈川	山本 光枝	保土ヶ谷
井上 奨	加賀町	椎名 卓	加賀町	齋藤かおり	鶴見	伊東 昭栄	旭
落合 孝	加賀町	富岡 友美	加賀町	池田 昭吉	保土ヶ谷	佐藤江里子	旭
加藤 祐輔	加賀町	中村 俊章	加賀町	小坂 秀樹	保土ヶ谷	山田 信義	旭

小川 誠一	緑	黒田 秀雄	青葉	中原 國雄	幸	古澤 弘	中原
児玉 健次	緑	三橋 力	青葉	堀口実枝子	幸	丸山 貴司	中原
馬場 富夫	緑	大山 克美	戸塚	加藤 稔	中原	宇都野久子	宮前
林 政徳	緑	堤竹 健夫	戸塚	塩澤 知子	中原	神保 秋敏	多摩
伊原 昭二	青葉	中村 若子	栄	関井 隆	中原	加藤 宏幸	麻生

佐藤しおり	麻生	下平由希子	葉山町	林 純子	平塚市	松木 信義	秦野市
松山 悅	麻生	丸 刚	逗子市	大迫 承	足柄	宮崎みはる	秦野市
小島都多枝	横須賀	古屋 学	茅ヶ崎地区	柏原 順子	足柄	伊久美達夫	厚木警察署管内
近藤 和重	横須賀	佐藤 義久	平塚市	落合 誠	秦野市	奥嶋 義明	厚木警察署管内
山本 勝美	横須賀	林 敏明	平塚市	多田 義則	秦野市	鈴木 獻	厚木警察署管内

綱島 一郎	厚木警察署管内	岡部 隆	海老名市	黒岩 健裕	海老名市	永野 美奈子	海老名市
青木 清美	海老名市	加々宮行雄	海老名市	斎藤恵美子	海老名市	中村 洋三	海老名市
池田 深雪	海老名市	上條 恭子	海老名市	佐藤 裕之	海老名市	仁科 功次	海老名市
石垣 敏夫	海老名市	菊池 幸次	海老名市	伊達 操	海老名市	潘 美代子	海老名市
今福 秀雄	海老名市	桐谷 潤子	海老名市	内藤 直美	海老名市	古谷 茂	海老名市

三觜 房雄	海老名市	海老原 香世	相模原	植山 智恵	相模原北	清水 敏夫	津久井
森川嘉与子	海老名市	金崎 稔	相模原	草野 悅朗	相模原北	鈴木 敏夫	津久井
山内 実	海老名市	坂巻 久雄	相模原	小山 征市	相模原北	森川 祐司	津久井
渡邊 孝雄	海老名市	須永 栄	相模原	蓮沼 英男	相模原北		
井上 孫三	相模原	牧野 義輝	相模原	尾形 好男	津久井		

令和6年 年末の交通事故防止運動

実施期間

令和6年12月11日(水)～12月20日(金)の10日間

目的

年末は人流や交通量が増加する傾向にあり、例年歩行者や二輪車が関係する交通事故が多く発していることから、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と交通マナーの徹底を呼び掛けることを目的としています。

スローガン

今日もまた あなたの無事故 待つ家族

運動重点

1 歩行者の安全の確保

- 歩行者に対し、横断歩道を渡ること、信号機のあるところでは、その信号に従うことなどの基本的な交通ルールの周知に加え、自らの安全を守るためにの交通行動として、運転者に対して横断する意思を明確に伝え、安全を確認してから横断を始めること、横断中も周囲の安全を確認することなどを促す呼び掛けを推進します。
- 神奈川歩行者安全五則を周知します。
- 交通事故の特性等を踏まえた参加体験型安全教育を推進します。



2 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

- 夕暮れ時と夜間における死亡事故の特徴を踏まえた交通安全教育等を推進します。
- 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- 反射材の着用促進

3 二輪車の安全利用促進

- 二輪車の特性の周知やヘルメットの正しい着用とプロテクターの着用による被害軽減効果に関する広報啓発を推進します。
- 若者層のみならず、中高年層に対する二輪車安全運転教育と広報啓発を推進します。
- 特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用促進と交通ルール遵守の徹底
- 特定小型原動機付自転車の販売事業者・シェアリング事業者等と連携した安全利用に関する広報啓発を推進します。

●●●●● 飲酒運転根絶強化月間実施中!! ●●●●●

12月中は飲酒運転根絶強化月間です。各地区交通安全協会では、悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を展開し、飲酒事故防止を呼びかけています。

飲酒運転による交通事故の年別推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
発生件数	153	135	193	177	132	139	117	120	111
死者 数	12	7	14	7	6	5	6	5	3
負傷者数	197	182	231	237	182	188	146	149	134

自転車安全教育指導員講習会

11月8日(金)藤沢市の辻堂海浜交通公園において、神奈川県自転車安全教育推進委員会の主催により、自転車安全教育指導員講習会が開催され、地区交通安全協会を通じて申し込みのあった交通指導員等16名が参加しました。

開講式の後、県警察本部交通総務課から「県下の交通情勢と自転車事故の実態」等の説明があり、その後、実技(応用走行・基本走行・指導要領の説明)が行われました。

最後に、当委員会から受講者に修了証が交付され、後日、受講者全員に認定証及び指導員バッヂが送付される予定です。



開講式の様子



実技（基本走行の説明）



実技（各ポイントにおける指導要領の説明）



二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月15日(金)県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00～)及び自転車安全教育推進委員会(15:00～)が開催されました。

両委員会とも小島委員長の挨拶に続き、県警察本部交通総務課担当者から交通事故情勢について説明があり、続いて委員会事務局から、令和6年中の所管業務(二輪車安全運転講習会、第52回こども自転車神奈川県大会等)の取組状況が報告され、来年度も二輪車、自転車に係る各種業務等を実施することが決定されました。



二輪車安全運転推進委員会



自転車安全教育推進委員会

令和7年度大会等開催予定

① 二輪車安全運転講習会

運転免許センター、県下指定自動車教習所等(年間18回)

② 第53回 こども自転車神奈川県大会

7月12日(土) 茅ヶ崎市総合体育館

交通事故の悲劇に学ぶ ⑬

●「奪ってしまった幸せ」 M.T 会社員（50代）

私は新聞やテレビ、ネットニュースなどで、幼い子どもが犠牲になる交通事故を見たり、聞いたりするたびに、ご家族はさぞかし辛いことだろうと心を痛めしていました。

しかし、まさか自分が加害者となり、人生を始めたばかりの幼い命を奪い、ご遺族に苦しみ、悲しみを与えるとは思ってもみませんでした。

私は職業ドライバーとして、車の運転には人一倍気を遣っていました。

その私が「まさか」事故を起こすとは、悪夢が現実となりました。

早いもので事故を起こしてから2年半の月日が経ちます。しかし事故のことは、昨日のことのように鮮明に覚えています。

思い出すことは非常に苦痛ですが、私にとって絶対に忘れられない、いえ、一生忘れてはならない事故なのです。

その日私は、繁華街から別の繁華街へ向けて大型車両を運転していました。

このルートにある繁華街には、駐車車両のほか歩行者や自転車の通行も多く、交差点では右左折の多い通りです。

しかし、このルートには僅かな距離ですが道幅が広く、交通量の少ない区間もあります。

そのため、私はいつもその区間を通過する時だけは、安心感から注意力を一段下げて運転していました。

しかし会社からは、その区間にある交差点は、歩行者が多いので左折時ののみならず右折する際にも徐行して、歩行者がいる場合は必ず横断歩道の手前で一時停止するよう指導されていました。

さらに、その交差点を右折した先にある横断歩道には、直近に高さ1メートルほどの植え込みがあり、それが死角となって、横断てくる歩行者が見えづらいので十分注意するようにとも指導を受けていました。

しかし私は、休日で交通量が少ないとから、「今日は道も空いているし、この区間は大丈夫」と安易に考えていました。

そして、交差点を右折して、前方の横断歩道を見ると、左側から自転車に乗った子供と、それを押す父親らしい姿が見えました。

私は一時停止をせず、徐行運転で親子が通過するのを見送ると、左右の安全確認を怠り横断歩道を通過してしまいました。

すると、小さく「ドン、ドン」と何かを踏む音が聞こえたので、左ミラーで確認すると、横断歩道に人が倒れているのが見えました。

私はすぐに車から降りると、倒れている被害者のもとに向いました。

被害者は遠方から見ても損傷が激しく、一見して亡くなっていることが分かりました。その時、たまたま付近をパトロールしていた警察官の姿が見えたので、大声で呼び、状況を説明した後、逮捕されました。

両親と思われる方が現場で絶叫し、泣き崩れている姿が今も忘れられません。

後で分かったことですが、自転車に乗っていた子供と亡くなった被害者とは兄弟で、先に横断歩道を渡った弟と父親を追いかけ横断歩道を渡っていました。

私は植え込みが死角となって、亡くなられたお子さんを全く見ていませんでした。事故原因は明らかに横断歩道の手前で一時停止を怠った私の責任です。

私の「歩行者はいないだろう」という思い込みによる漫然運転が、横断歩道での安全不確認に繋がり、取り返しのつかない重大事件を招いたのです。

留置場から釈放された後、「謝罪したい」と弁護士を通じ、ご遺族へお願いしましたが、「まだ謝罪を受け入れる精神状態にない」と断られ、示談を含め拒否されました。

職場は、会社や同僚に多大なご迷惑をかけたけじめとして、自主退職しました。

その後、刑事裁判が始まり、私は過失運転致死罪で禁固1年4ヶ月の判決を言い渡されました。

裁判の中で、幸せな生活を送っていた被害者の家庭は、事件後生活が一変し、PTSD（心的外傷後ストレス障害）を発症したため日常生活も困難な状況である事を知りました。

私の不注意から、奪ってしまったものがあまりに大きいことに衝撃を受けました。

私は今、市原刑務所で規則正しい受刑生活を送りながら遵法精神を学び、ご遺族の心情の理解に努め、自分の犯した罪と真摯に向き合っています。

この手記を読まれた方は「他人の幸せを奪う」ということがどういうことか、今一度考えてみて下さい。

そして、私のような加害者や、将来を奪われる被害者が無くなることを心から願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第59集)」から～

この人 224



(一財)横須賀交通安全協会
会長

いち かわ じゅ いち
市川 壽一さん



一般財団法人横須賀交通安全協会会長の市川壽一さんは、本年6月18日の会長・副会長選任理事会で選任され、中村昌弘前会長の後任として就任されました。

市川会長のご尊父も、長年に亘って横須賀交通安全協会の理事として交通安全活動に尽力されています。ご尊父は、理事就任後、昭和54年から副会長を6年間、さらに会長を3年間務められ、平成13年6月の退任と同時に、現会長が引き継ぐ形で理事に就任され、23年になりました。さらに平成23年6月から副会長として13年になり、市川会長は親子2代に亘って横須賀交通安全協会の発展と地域の交通安全活動に多大な貢献をされてきました。

さて横須賀市の地形は、山坂やトンネルが多いのが特徴で、身近な交通事情は自転車よりも二輪車の利用が多いことです。昨年、管内で3件の交通事故死亡事故が発生しましたが、犠牲者はすべて二輪車の運転者です。本年もすでに3件発生していますが、

2件が二輪車運転中の方でした。

最近の交通事故発生状況をみると、二輪車が関わる事故は、令和5年は二輪車が約38%、高齢者が約44%、令和6年(10月末現在)は二輪車が約39%、高齢者が約39%と非常に高い数値で推移しており、依然として厳しい情勢が続いています。

会長は、多くの大型観光バスやタクシーを擁する旅客運送事業を経営しています。経営者として、社員に対し旅客の安全安心輸送を第一に、常に自ら交通法令の研鑽をはじめ、交通安全五則などを活用した社員教育を熱心に行っています。

これからも警察や市、関係団体の協力をいただきながら、横須賀の地域の特性に合った活動を辛抱強く展開し、悲惨な交通事故を1件でも減らすような活動を展開していきたいと意気込みを語っています。

(取材協力:(一財)横須賀交通安全協会)

ここにちは「加賀町交通安全協会」です

ここにちは、加賀町交通安全協会です。

「加賀町交通安全協会」は昭和23年4月に発足し、本年で満76年を迎えました。

戦後、連合軍車両及び一般車両が増加し、それに伴う車両の往来も頻繁となり交通事故による死傷者も増加したことから、民間における交通道徳の普及高揚と交通事故防止を図ることを目的として当協会の組織づくりが進められ誕生につながりました。市内では4番目の地区交通安全協会として設立され、横浜中華街の中心にある「加賀町警察署」内に事務所を置いています。

加賀町交通安全協会は中華街・元町・山下公園と横浜を代表する観光地が担当地域であり来街者も多数に上っているため交通安全に対するキメ細かい配慮が求められます。



警察署と交通安全関係者が一丸となって交通事故防止の徹底と教育・啓発に真剣に取り組み確実に成果を上げるよう日々努力しているところです。

当協会の西條会長は交通指導員として今も精力的に活動されておりその際に感じることがあるそうです。

横断歩道に立ち交通安全の呼びかけをする中で横断者のマナーを今一度見直してもらうため改めて左右確認の声掛けをしているそうです。こうした地道な声掛けも交通事故防止に繋がる大事な活動と言えます。安全協会事務局でも免許の更新にきた皆様に交通安全協会の活動を説明し、入会者を伸ばすよう頑張っており、会員数は少しずつ増えています。

今後も西條会長を先頭に安全協会、交通指導員、事務局ほか警察、関係団体と連携し地域の安全・安心を目指した活動を続けていきたいと思います。

(斎藤 記)



地区交通安全協会の活動紹介



**秋の全国交通安全運動
交通事故死ゼロを目指す日キャンペーン**



加賀町 秋の全国交通安全運動 中華街におけるキャンペーン



鎌倉 秋の全国交通安全運動
警察署前におけるキャンペーン



田 浦 秋の全国交通安全運動
船越交差点におけるキャンペーン

交通安全活動



横須賀南 秋の全国交通安全運動
京急久里浜駅前におけるキャンペーン



秋の全国交通安全運動 えびなこどもセンター前におけるキャンペーン



鶴見 秋の全国交通安全運動
鶴見駅前におけるキャンペーン



麻 生 秋の全国交通安全運動
新百合ヶ丘駅前におけるキャンペーン

贊助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 萬運輸(株) 横浜市鶴見区
 - 学校法人武相学園 横浜市港北区
 - 三橋建設(株) 横浜市青葉区

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。

インフラストラクション

- 交通安全全国民運動中央大会 1月14日(火) グランドヒル市ヶ谷
 - 同表彰式 1月15日(水) 文京シビック大ホール
 - 賀詞交歓会 1月23日(木) ロイヤルホールヨコハマ